

4. 実践心理学科 専門教育科目 体系図

科目群の学習目標・到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■基礎的な心理学およびその周辺領域の知識を習得する 心理学のなかでも基礎心理学に分類される科目の理論的視点を身に付けることで、その後の発展科目を理解するための心理学的視点を獲得します。 ・心理学概論では、心理学全体について広く学ぶことで、それぞれの下位科目の関連等、学問的体系を理解するとともに、自身の関心領域を見いだすことができるようになります。 学習・言語心理学、知覚・認知心理学、感情・人格心理学においては、心理学的な科学としての行動への理解の視点を習得します。 神経・生理心理学、人体の構造と機能及び疾病では、行動の生物学的メカニズムを理解します。	心理学概論②		心理学の展開②				哲学概論②	社会学概論②
	感情・人格心理学②			教育心理学②			スポーツ心理学②	
		知覚・認知心理学② 学習・言語心理学②		人体の構造と機能及び疾病②	神経・生理心理学②			
■心理学研究法とその分析的視点を習得します。 学問としての心理学における研究方法およびデータの分析手続きの理論的理解および実践的技能を習得します。 ・心理学研究法では、心理学における各種研究手続きの理論的視点について理解します。心理学実験では、ヒトを対象としたさまざまな心理学実験を行い、分析の結果についてのレポートを作成することで、心理学における科学論文の書き方を習得します。 ・心理学統計法では統計的処理の理論的基礎を理解し、心理学調査実習では、統計の基礎で学んだ手続きを実際のデータに応用させることで、データ処理・分析、その結果報告方法の技能を習得します。 ・対人・集団行動分析では、心理学的データを科学的に分析する手法を身に付けます。			心理学研究法②					
	心理学統計法②			心理学調査実習②			対人・集団行動分析①	
		心理学実験②	心理学基礎実験②					
■発達心理学に関する知識を習得する 発達心理学を実践的心理学のひとつと位置づけて、ヒトの発達についての理解、発達支援の方法についての理解を目指します。 ・発達心理学において、発達心理学全体の体系について理解します。 ・児童心理学、青年心理学、高齢者心理学においては、各ステージの発達の特徴を理解します。 ・発達臨床心理学、障害者・障害児心理学では、発達心理学と関連の深い諸問題を対象とした支援の方法について理解します。		発達心理学②			児童心理学②	高齢者心理学②	青年心理学②	
						発達臨床心理学②	障害者・障害児心理学②	発達障害教育総論②
■社会心理学に関する知識を習得する 社会心理学を実践的心理学のひとつと位置づけて、ヒトと社会との関係について心理学的に理解します。 ・社会・集団・家族心理学において、社会心理学全体の体系について理解します。 ・対人関係心理学、消費者心理学においては、社会心理学領域の具体的な理論、背景知識を身に付けます。さらに対人スキル実践演習では実際の職場での実践力を鍛えます。 ・キャリア心理学では、社会心理学の知見を対人援助に応用した具体的な支援方法の視点を身に付けます。消費者行動分析では、社会心理学の知見を科学的に分析する手法を身に付けます。	社会心理学②		対人関係心理学②		社会・集団・家族心理学①			
				消費者心理学②		消費者行動分析②		
						キャリア心理学②		
						対人スキル実践演習②		

*表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年		
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
■臨床心理学に関する知識を習得する 心理学を実践的心理学のひとつと位置づけて、対人援助のための理論についての知識を習得します。 ・臨床心理学概論において、臨床心理学全体の体系を理解します。 ・精神疾患とその治療では、ヒトが示す心理学的な諸問題についての知識を習得します。 ・心理学的支援法において、臨床心理学的介入の全体像を理解したうえで、心理療法では、精神分析療法、認知行動療法などの心理療法の視点を習得します。心理的アセスメントでは、各種心理検査等の概要、具体的な手続きについて習得します。		臨床心理学概論②			精神疾患とその治療②				
			心理的アセスメント②	心理学的支援法②	心理療法②				
■実践的心理学に関する技能を習得する 実践的に心理学を応用するため、対人援助のための具体的スキルを習得します。 ・心理アセスメント実習、心理演習では、さまざまな実践的な心理学的介入の基礎的視点を習得します。 ・心理実習では、臨床心理士や公認心理師が活動する領域の現場への見学を通して、実際の業務について理解します。				心理アセスメント実習②	心理演習②		心理実習②		
			教育・学校心理学②	健康・医療心理学②					
■実践的心理学に関する職責や各領域の課題・支援を習得する 実践的に心理学を応用し、各領域の現場で働く上で求められる役割や責任を学び、各現場で生じる課題や必要な支援について習得します。公認心理師の職責では、公認心理師として働く上で求められる倫理や能力について理解します。健康・医療心理学、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学では、各領域で生じる問題やその背景、及び必要な支援について習得します。関連行政論では、各領域に関係する法律、制度について理解します。						産業・組織心理学②			
				福祉心理学②			司法・犯罪心理学②		
							公認心理師の職責②		
								関係行政論②	
■社会福祉に関連する知識を習得する 心理学の知見を実際の対人援助領域で活用できるものにするべく、対人援助の基盤となる社会福祉に関連する基礎的知識を習得します。 ・様々な領域の福祉の現状とその支援制度について理解することで、共生社会の実現に資する実践力を基礎づけます。			現代社会と福祉④			障害児に対する支援と障害者自立支援制度②		更生保護制度②	
			相談援助の基盤と専門職Ⅰ②	相談援助の基盤と専門職Ⅱ②				保健医療サービス②	
							児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度②		
								高齢者に対する支援と介護保険制度②	
									貧困に対する支援②
						共生援助論②	ジェンダー福祉論②	社会的養護Ⅰ②	
							医学概論②	障害者スポーツ論②	

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

